

2002年6月の日本の天候

少雨・多照（西日本）、寡照（南西諸島）

天気概況

月前半は移動性高気圧に覆われて晴れる日が多く、全国的に高温傾向が続いた。月後半はオホーツク海高気圧が発達し、北日本を中心に低温傾向となり、北日本では下旬に一時強い低温となった。梅雨前線は中旬以降に本州南岸に停滞し、10日頃に九州、11日頃に四国から東北で梅雨入りした。梅雨前線の位置がやや南に偏ったため、東日本と西日本では少雨傾向のところが多かった。南西諸島では台風第4号による降雨があったが、全体としては少雨傾向が続いた。

上旬：東日本と西日本は高気圧に覆われて晴れる日が多く、高温・少雨・多照だった。梅雨前線は南西諸島付近に位置したが活動は弱く、南西諸島においても少雨だった。北日本は低気圧の影響でまとまった雨の降る日があった。10日頃に梅雨前線が北上し、九州が梅雨入りした。**旬平均気温**は全国的に高く、西日本では平年を2℃上回った。**旬降水量**は北日本の日本海側が多く、北日本の太平洋側から南西諸島では少なかった。**旬日照時間**は北日本から西日本では多く、南西諸島では少なかった。

中旬：オホーツク海高気圧が発達し、北日本と東日本の太平洋側で低温傾向となった。梅雨前線は本州南岸沖に停滞し、東日本の太平洋側や南西諸島では曇りや雨の日が多かったが、西日本の日本海側では晴れの日が多かった。11日頃に四国から東北で梅雨入りした。**旬平均気温**は北日本の太平洋側で低かったほかは平年並か高かった。**旬降水量**は東日本の太平洋側と南西諸島で多かったほかは平年並か少なかった。**旬日照時間**は西日本日本海側で多かったほかは平年並か少なかった。

下旬：旬前半を中心にオホーツク海高気圧が強くなり、北日本から西日本にかけて低温傾向が続き、北日本は強い低温となった。梅雨前線は本州南岸に停滞したが活動は弱く、東日本と西日本の日本海側では少雨となった。沖縄は高温・少雨傾向となり、21日頃に梅雨明けした。月末には梅雨前線はやや北上し、奄美が30日頃に梅雨明けした。**旬平均気温**は北日本から西日本で低く、南西諸島で平年並だった。**旬降水量**は北日本の日本海側で多かったほかは平年並か少なかった。**旬日照時間**は東日本や西日本の太平洋側で少ないほかは平年並か多かった。

6月の気候統計

平均気温：西日本と南西諸島では平年を上回ったところが多く、北日本と東日本の一部では平年を下回ったところが多かった。佐世保（長崎県）など2地点の

月平均気温は、最高値とタイ記録となった。

降水量：北海道のオホーツク海側及び日本海側の一部、東北北部の一部、関東の太平洋側の一部、九州南部の一部及び南西諸島の一部で平年を上回り、銚子（千葉県）で月降水量の最大値を更新した。その他の地方では平年を下回った。特に北陸、東海、近畿、山陰の一部、九州の北部及び南西諸島の一部では、平年の40%以下となったところがあり、四日市（三重県）、舞鶴（京都府）、与那国島（沖縄県）で、月降水量の最小値を更新した。

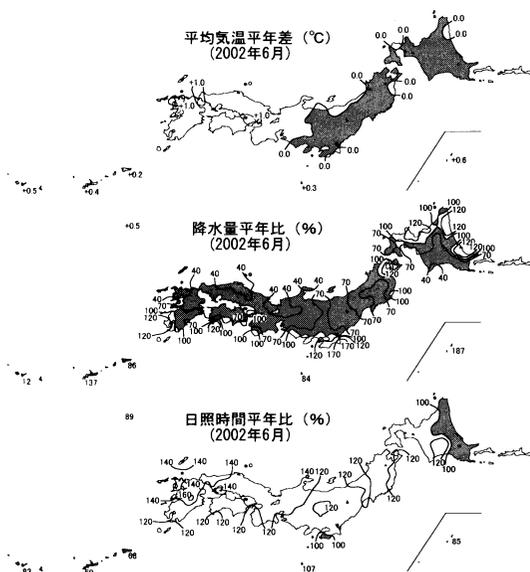
日照時間：北海道の一部、関東南部の一部及び南西諸島で平年を下回ったほかは、全国的に平年を上回ったところが多かった。特に西日本で平年を上回り、中国の一部及び九州北部では平年の140%以上となったところがあり、萩（山口県）で日照時間の最大値を更新した。

生物季節現象：アジサイの開花が平年より早かった。

6月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温の高い記録（℃）
佐世保 23.5（タイ記録） 他1地点
- ・月降水量の多い記録（mm）
銚子 279.0
- ・月降水量の少ない記録（mm）
四日市 112.5 他2地点
- ・日照時間の多い記録（時間）
萩 220.7

2002年6月の平年差（比）図



注）陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す